

けんぱくものしりシート

こま



くるくると回る様子が何とも楽しいこまは、古くから日本で遊ばれてきたおもちゃの一つです。かつてはお正月に子どもたちが遊ぶものでしたが、現在は伝承玩具（むかしから受け継がれているおもちゃ）として、一年を通して親しまれています。

てまこま



こまは古くから世界中で愛されてきましたが、日本では平安時代（およそ1200年前）には、すでにこまを回していたという記録があります。この時代のこまは、岩手県平泉町の柳之御所遺跡からも見つかっています。

柳之御所遺跡のこま
岩手県 蔵 [重要文化財]




平安時代のこま回しは主に宮廷（天皇の住んでいるところ）の儀式などで行われるものでしたが、その後、貴族の大人の遊びとなり、庶民の子どもたちにも広まったのは江戸時代になってからでした。


まきこま





裏面で、ひもを使って回す『まきゴマ』の基本を紹介します。上手に回せると、とても楽しいものです。練習してみましょう。

ひものまきかた ひだり ひと かがみ 左ききの人は鏡にうつしたように反対のことをします。

- 


① 上の心棒（こまの中心）にひもをかけてひっぱる。
- 


② 左手の指でこまのはしを強くつかむように持ちかえる。
- 


③ 下の心棒に時計回りに2~3階だてになるように強くまく。
- 


④ 最後までひもをゆるめずに、ゆっくりとねいにまいていく。


こまのもちかた ひだり ひと かがみ ひもを巻き終わったら、左手の指でひもがゆるまないように押さえてこまを持ち、ひもを10cm位たらしめます。

- 


① 右手の小指とくすり指の間にひもをはさむ。
 - 


② ひもをはしまで手を下げる。
 - 


③ 小指~中指までの3本でひもをにぎり、残り2本の指をひらく。
 - 

④ ひとさし指と親指でこまをつつむように持つ。
- 横から見たところ ↓
- 

こまのなげかた お 慣れるまでは「いち、にの、さーん」と腕をふってから投げてみましょう。

- 

① 左足を前に出し、右手を後ろにかまえる。
- 

② ひじをのばし、肩を中心にして下を通して腕をふる。
- 

③ 前で腕をとめ、ひとさし指と親指をはなす。

ここがポイント!

こまを投げた手はすぐ引かず、こまが着地するまでそのまま止めておこう。こまが安定して回るよ。



参考にした本 『日本人の20世紀 暮らしのうつりかわり5 遊び』 小峰書店 2005年/
『独楽』 文溪堂 2011年/ 『子供に伝えたい伝承 あそび』 萌文書林 2009年

来月(1月)の
けんぱくものしりシートは
地質-6だよ!
おたのしみに!



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214
<http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/>